

【概要・目標】

がんの予防，ゲノム医療に伴う個別医療から終末期に到るプロセスにおいて、がん患者・家族への援助に有用な理論および基礎的概念を学習し、がん看護が抱える課題とがん看護専門看護師の役割について自らの考えを深める。特に、がん患者・家族に有用な概念・理論について、実践および研究への活用に向け探求する。

【授業内容・スケジュール】

ストレス理論(講義)

① - ② ストレス理論の講義を受け、学生は、ストレス理論に関する、文献を2研究以上クリティークし、プレゼンテーションする。その内容を踏まえて、看護の中で理論がどのように活用されているのかをディスカッションする。

危機理論(講義)

③ - ④ 危機理論の講義を受け、学生は、危機理論に関する、文献を2研究以上クリティークし、プレゼンテーションする。その内容を踏まえて、看護の中で理論がどのように活用されているのかをディスカッションする。

全人的苦痛(スピリチュアルペイン)(講義)

⑤ - ⑥ 全人的苦痛の講義を受け、学生は、村田理論を中心とした、スピリチュアルペインの文献を2研究以上クリティークし、プレゼンテーションする。その内容を踏まえて、看護の中で理論がどのように活用されているのかをディスカッションする。

⑦ - ⑧ 学生は、全人的苦痛(身体的・精神的・社会的・スピリチュアルペイン)に関する文献を2研究以上クリティークし、プレゼンテーションする。その内容を踏まえて、看護の中で理論がどのように活用されているのかをディスカッションする。

ロイ適応看護理論の理解(講義)

⑨ - ⑩ ロイ適応看護理論の講義を受け、学生は、ロイ適応看護理論に関して、概念構造、看護過程、適応様式、実践に関する内容をまとめ、プレゼンテーションする。その内容を踏まえて、ディスカッションをする。

セルフケア理論の理解(講義)

⑪ - ⑫ セルフケア理論の講義を受け、学生は、オレムセルフケア理論に関して、開発のプロセス、概念図を用いた基本的な、看護システムの解釈をプレゼンテーションする。その内容についてディスカッションする。

アドバンス・ケア・プランニング(講義)

⑬ - ⑭ アドバンス・ケア・プランニングの講義を受け、学生は、近年のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)に関する文献をクリティークし、プレゼンテーションする。

⑮ ACP を行うにあたり、海外と日本の文化の違いに基づいた、ゲノム医療など最新医療の拡大による意思決定を支える課題をディスカッションする。

【評価】

下記の事項について、総合的に判断して評価する。

- 1) 指定文献の読み込みとその理解状況(プレゼンテーションおよび意見交換) 50%
 - 2) 課題レポート 50%
-

【テキスト】

配布資料

【推薦参考図書】

文献は開講時に紹介する。

【その他】

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp